

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月22日(水)

事務事業		住宅等企画調整事務		担当課	建築住宅課	担当係	施設住宅係	管理番号	4114	
総合計画	大項目	5	快適で利便性の高いまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	1	都市整備の行き届いたまちづくり		根拠法令 個別計画等	住生活基本法 空家等対策の推進に関する特別措置法				
	小項目	1	良好な市街地・住環境形成の推進							
	主要プロジェクト	0	(未使用)							
事業概要		平成28年3月に定められた「住生活基本計画（全国計画）」（計画期間：平成28年度から令和7年度まで）に基づき、住宅確保要配慮者への対策等について総合調整を行うものの一つである、空き家の有効活用についての取組みを実施している。								
目的 ※何のために		空き家の利活用を推進し危険空き家の発生防止。								
対象 ※誰・何を対象に		空き家の所有者、空き家の利用希望者。								
手段 ※どのように		市営住宅を含む住宅の既存ストックの有効活用策を検討する。 深谷市空き家利活用ネットワーク制度を運用・発展させる。								
成果 ※何を求めるか		市内に存する空家の有効活用を図る。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他（ ）								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
		一般会計	8	土木費	6	住宅費	1	住宅管理費	住宅等企画調整事務費	57,200
本事業の 主な業務		・ 住生活基本計画に関する総合調整							・	
		・ 住生活総合調査業務							・	
		・ 特定優良賃貸住宅供給計画の認定							・	
		・ 空き家の有効活用の研究							・	
		・							・	
		・							・	

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画		空き家所有者への利活用のPR空家バンクの運営	空き家所有者への利活用のPR空家バンクの運営	空き家所有者への利活用のPR空家バンクの運営	空き家所有者への利活用のPR空家バンクの運営	空き家所有者への利活用のPR空家バンクの運営	空き家所有者への利活用のPR空家バンクの運営
事業費	予算（現額）	200,000	100,000	82,000	68,000	68,000	68,000
	決算額	119,856	80,559	45,046	59,200	57,200	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	119,856	80,559	45,046	57,200	68,000
		一般財源	0	0	0	0	0
人件費	従事職員数（人）	1.20	1.45	1.52	1.37	2.42	2.50
	人件費相当試算※	9,334,800	11,283,900	12,319,600	11,162,760	18,783,835	20,328,370
総事業費試算		9,454,656	11,364,459	12,364,646	11,221,960	18,841,035	20,396,370

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
			実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所										
実績値の算出式											
活動指標 1	空き家利活用ネットワーク制度案内書送付件数	目標値	件								
		実績値		58561	59308	61020	60600	61500	0		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		毎年度、周知方法を検討することから予測が困難なため設定しない / 当該年度実績								
	実績値の算出式										
成果指標 1	活用相談申込み件数および空き家バンク登録件数	目標値	件								
		実績値		38	37	17	6	4	0		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		所有者の意向により、予測が困難なため設定しない / 受付台帳								
	実績値の算出式										
成果指標 2	空き家利活用件数	目標値	件								
		実績値		5	21	2	10	3	0		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		所有者の意向により、予測が困難なため設定しない / 当該年度実績								
	実績値の算出式										
		目標値									
		実績値									
	目標値の算定根拠/実績値の出所										
	実績値の算出式										
		目標値									
		実績値									
	目標値の算定根拠/実績値の出所										
	実績値の算出式										
		目標値									
		実績値									
	目標値の算定根拠/実績値の出所										
	実績値の算出式										

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	固定資産税等納付通知書や他課で送付した空き家所有者への通知に、利活用ネットワーク制度のリーフレットを同封することで、市内にある土地建物の所有者（およそ6万世帯）へ周知を図った。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	制度の周知を図った結果、活用相談の申し込みが4件あった。ネットワーク制度によって、空き家所有者と不動産業者を結びつけることで、3件の空き家が利活用された。
			評価者 施設住宅係長 大塚光晴

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	7市町（深谷市・熊谷市・本庄市・美里町・神川町・上里町・寄居町）での埼玉県北部地域空き家バンクを設置し、広域での空き家の利用希望者の登録受付や空き家情報のメール配信等を行い事務の効率化を図っている。
			評価者 施設住宅係長 大塚光晴

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	市民等へ「深谷市空き家活用ネットワーク制度」および「埼玉県北部地域空き家バンク制度」の周知を行い、空き家の有効活用を推進する。
達成状況及び その効果	固定資産税等納税通知書に利活用ネットワーク制度の紹介文を同封することで、市内に土地建物を所有している方全員に対しPRすることができた。 また、この制度の周知を図ったことで、空き家の相談や利活用相談申し込みなど、一定の成果があり、件数は少ないが空き家の有効活用に繋がっている。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	住宅等企画調整事務	担当課	建築住宅課	担当係	施設住宅係	管理番号	4114
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		<div>評価の内容説明</div> <div>引き続き、空き家の有効活用を促進する必要があるため、現状のまま継続とするが、埼玉県北部地域空き家バンクを運営する埼玉県北部地域地方組成推進協議会 情報発信・空家活用事業部会において、空家活用事業内容の改善を検討していく。</div>					
<div>上記を実施するための具体的な取組内容は？</div>		評価者	建築住宅課長 小井土秀樹				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	市民等へ「深谷市空き家活用ネットワーク制度」および「埼玉県北部地域空き家バンク制度」の周知を行い、空き家の有効活用を推進する。 埼玉県北部地域地方組成推進協議会 情報発信・空家活用事業部会において、空家活用事業内容の改善を検討する。
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

